



新潟産業大学 地域に学び、地域をおこす
Niigata Sangyo University

2022年度地域理解ゼミナールⅢ 合同発表会

長寿企業分野 発表者：栗林 小野塚

発表テーマ

「長寿企業訪問にて学んだこと」

担当教員：今村教授

2022.7.21

当ゼミの目的は、

**「長寿企業がどのようにして
生き残ってきたのか」**

【訪問した3つの企業】

- ・ 北野屋スポーツ
- ・ 柏崎魚市場
- ・ 御菓子処すだ

会社概要①

名称：株式会社 柏崎魚市場

所在地：新潟県柏崎半田1-1-8

電話番号：0257-23-5221

代表者：片山 和男

設立年月日：昭和30年1月13日

資本金：2,500万円

従業員数：30名



会社概要②

営業品目：生鮮水産物、冷凍魚類、冷凍食品

塩乾物、ねり製品、その他加工食品

仕入先：(株) 極洋、日本水産(株)、東洋冷蔵(株)、
(株) 表商店、他著名メーカー

敷地面積：11,879m²

建物面積：4,960m²

うち卸売場：1,425m²

冷凍冷蔵倉庫：1,141m²



企業理念

当社は卸売市場として食文化
と健康増進に寄与する

経営理念

- 1：会社の柱は株主である
- 2：会社の繁栄の基は消費者である
- 3：会社の繁栄と社員の幸福を一致させる

沿革

- | | |
|-----------|-------------------------------|
| 明治 36年11月 | 柏崎魚市場の前身である柏崎鮮魚問屋組合を設立(本町3丁目) |
| 昭和5年 | 鮮魚問屋と刈羽漁業協同連合会が合併 |
| 昭和25年4月 | 柏崎鮮魚組合と改称 |
| 昭和30年1月 | 株式会社柏崎魚市場を設立 |
| 昭和44年5月 | 現在の地 岩上(半田一丁目1番8号)に移転 |

現在の魚市場の状況①

- ・ 漁師人口、漁獲船数共に年々減少傾向にあるため、それに比例する形で魚獲量も年々減少している
- ・ 今年の年明けから魚の値段が全体的に2~3割値上がり
- ・ 年々全体的な売上も減少している
- ・ 最近では水揚げ(天然物)より養殖物の方を市場で扱うのがメジャーになりつつある

現在の魚市場の状況②

- ・ 敷地内にある定食屋は去年の末に閉店し、現在は別の店に建物を貸している状態
- ・ 柏崎の原信・ウオロク・ピアレマート等の大手スーパーにも品卸している
- ・ 回転寿司に卸している魚はブリと鯛以外はほとんどが海外産養殖魚

現在の魚市場の状況③

- ・ 柏崎には専業の魚屋が1店舗しかないため大手スーパー集中して卸している
- ・ 近海魚から遠洋魚がメジャーになりつつあるため仕入れのコストがかさんでいる
- ・ 競りは現在1:00~7:30まで行われている
- ・ 競りや卸す商品は巨大な冷凍倉庫で-50° 保存している



冷蔵庫・冷凍庫外装



冷蔵庫・冷凍庫内装

柏崎魚市場の転機

- ・ 中越地震の被害に遭った時、魚の仕入れがストップしたため店に魚を卸せなくなった
- ・ しかし大手スーパーはこちらの事情関係なく魚を注文してくるため、要望に応えるために全国から無理して仕入れを行なった
- ・ 結果、この一件で大手スーパーの信頼を大きく得ることができたため現在でも懇意にいただいている

100年以上も生き続けられた理由

- ・新潟県内に魚市場自体が少なく、競合他社が少ないため
- ・大手スーパーに品卸ができるアドバンテージがあるため
- ・お客の信頼を得るため全力で要望に応えているため

【感想】

栗 林：お客の信頼を得るために全力で相手の要望に答えていく姿勢と努力が長寿企業になる秘訣の1つだと今回の訪問で学びました。

小野塚：今回3企業の訪問を行ない、長寿企業と呼ばれる企業は時代に合わせて取り扱う商品やジャンルを変えていました。
このような柔軟な思考が大切なのだと学びました。

ご静聴ありがとうございました